

## 令和5年度 第6回理事会議事録

- 1 日 時 令和6年1月16日(火)午後3時～4時58分
- 2 方 法 会場(A P横浜 6階1ルーム)
- 3 出席者 理事13名、監事1名(理事1名、監事1名はオンライン参加)、  
竹内名誉会長(オンライン参加)
- 4 進 行 議長(会長)
- 5 協議事項
  - (1) 令和6年度当初予算(案)について  
事務局より資料1について説明を行い、協議を行った結果、案のとおり総会に諮ることとなった。なお、収支状況がマイナスで繰越額が減ってきていることから、令和5年度の決算を見て、会費の値上げ等の対応を検討していくこととなった。
  - (2) 第2回定期総会について  
事務局より資料2について説明を行い、協議を行った結果、会場はホテルプラムで行うこととし、案のとおり通知することとなった。
  - (3) 各種委員の推薦について  
神奈川県精神医療審査会委員は、合議体増による委員6名増員の推薦依頼があり、笠原理事、関口剛(丹沢病院)、竹内俊介(愛光病院)、岡崎有恒(みくるべ病院)、遠藤詩郎(富士見台病院)、大淵敬太(常盤台病院)の6名を新たに推薦することとなった。  
横浜市精神医療審査会委員は、3名の任期切れと合議体増による委員5名増員の推薦依頼があり、山口会長、坂井理事を引き続き推薦し、佐伯理事は新たに合議体委員として推薦し、笠原理事、長谷川剛理事、藤渡辰馬理事、矢野広(国府津病院)を新たに合議体委員として、大野副会長を新たに予備委員として推薦することとなった。  
川崎市精神医療審査会委員は、5名の任期切れと合議体増による委員3名増員の推薦依頼があり、武田理事、竹林裕直(栗田病院長)、岡田昇(生田病院)、袖長光知穂(聖マリアンナ医科大学)、猪狩温(栗田病院:予備委員)の5名を引き続き推薦し、大野副会長、小山雄史(東横恵愛病院)、大坪明子(ハートフル川崎病院)の3名を新たに推薦することとなった。  
神奈川県公衆衛生協会理事は、新たに山口会長を推薦することとなった。
  - (4) その他  
各種会議等への参加について、「薬物依存のある保護観察対象者等に対する地域支援連絡協議会」は、神奈川病院の医療相談室室長が出席することとなった。  
「精神科病院への実態把握調査」実施について、県より前回理事会での質問事項等への回答内容を中心に説明があり、協議の結果、1月26日の知事記者会見でアンケートの実施を発表するとのスケジュールなので、その前に日本精神科病院協会と協議を行い、その結果をもって県と調整することとなった。
- 6 報告事項
  - (1) 日精協報告について  
令和6年1月12日に開催された第8回理事会について、坂井理事より報告があった。
  - (2) 協会創立60周年記念事業について  
現時点での収支状況と60周年記念誌の原稿が完成したことについて事務局より報告を行った。
  - (3) 会員病院の届出事項変更について  
栄聖仁会病院より提出があった事務長の変更届について報告がされた。
  - (4) 各部長会について  
各部長会の第3回研修会の開催予定についてそれぞれ報告がされた。

(5) 各研修事業について

精神科看護職員研修会、精神科看護技術研修会の開催予定についてそれぞれ報告され、栄養課職員研修会、コ・メディカル職員研修会については、担当理事において研修を企画するよう会長から話があった。

(6) 第5回理事会議事録について

議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。

(7) その他

・次回理事会は、2月13日(火)に開催することとなった。

以上で、全ての審議を終了し議長は午後4時58分理事会の閉会を告げた。